

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

数学がイノベーションを生むエンジン

1. いまや、人間顔負けの能力を発揮するようになり、産業のあらゆる場面へと進出し始めたAI。膨大なデータに基づき、AIの性能は飛躍的に向上したのだが、その根幹を支えているのは数字だ。かつて、社会を変える発明がハードウェアだった時代には、ものづくりの技術力が、企業の競争力の源だった。だが、現代は、ソフトウェアが新たなサービスを生む時代だ。純粋数学の理論が、イノベーションの源泉となっている。
2. 数学は現代社会の新たな基盤だ。こう気付いた海外勢は、いち早く動こうとしている。「英国経済への数学の貢献額は年間 2000 億ポンド（約 29 兆円）以上」。英国の政府機関が今年 4 月に公表したレポートでは、こんな試算がまとめられている。「数学の時代」と題したこのレポートでは、金融や医療などの主要産業から国防に至るまで、数学が現代社会の基盤となっており、「イノベーションを生む強力なエンジンになっている」と強調している。
3. さらに、数学への投資対効果は、工学や物理学、化学よりもはるかに高い 588 倍だと推定した上で、数学の素養を持つ人材育成が急務であると訴える。数学がゲームチェンジの鍵を握るといなのだ。

(参考：「週刊ダイヤモンド」2018 年 6 月 30 日号)

ワンポイント経営アドバイス

消費者の不満を減らす改善

市川 典男（象印マホービン社長）

1. 100 年前、魔法瓶という新技術に着目し、商品に象のブランドを付けて当社は創業した。その後、炊飯器やホットプレートに参入して総合家庭用品メーカーとなり、最近ではタイなど海外に製造拠点を設けた。今では売上高の 3 分の 1 は海外となった。大きな変化のあった 100 年だった。これからも、「暮らしを創る」という経営理念は守っていく。
2. 今後も生き続けるには、他社には無い商品を作り続け、付加価値を高める必要がある。当社は消費者の不満要素を減らすよう、細かい改善を徹底的に重ねている。目に見えない部分、普段は気付かない部分に象印の強さがある。5 年、10 年といった生活家電の買い替えやサイクルの中で、当社の良さを分かってもらえる商品作りをこれからも続けていく。

(参考：「日経ビジネス」：2018 年 7 月 9 日号)

海外事情

第三者委員会の設置（無・米国）

藤田 浩之（米国商務省長官顧問など歴任）

1. 私はオハイオ州立大学（OSU）の理事を務めている。OSUは学生と教員・スタッフで 11 万人を超えるマンモス校だ。理事会や委員会（ガバナンス委員会等）にはいろいろな報告が上がってくる。問題が起これば、まずは専門性の理事が立ち上がり、独自の調査委員会を立ち上げ、理事会で対応策を協議し、関係機関や担当機関に報告・指示する。
2. ここで大事なのは、運営責任がある自分たちがまず検証し、対策を速やかに講じることである。日本では問題が発生すると「客観性・中立性」の観点から、真っ先に第三者委員会の設置を発表する経営陣が多いように思う。米国では大学に限らず企業の不祥事などでも第三者委員会の設置はあまり聞いたことがない。日本のこうした風潮は、経営陣が普段からきちんと管理・対応していないことの裏返しではないだろうか。

(参考：「Wedge」2018 年 8 月号)

古典に学ぶ

自分で箸を取る

（解説）かくお膳立てをして待っているのだが、食べるか否かは箸を取る人のいかにあるので、御馳走の献立をした上に、それを養ってやるほど先輩や世の中というものは暇ではない。かの木下藤吉郎は^{ひっぽ}匹夫から起って、関白という大きな御馳走を食べた。けれど彼は信長に養ってもらったのではない。自分で箸をとって食べたのである。何か一と仕事をしようとする者は自分で箸を取らなければ駄目である。

(参考：渋沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会)